

2002年 第7週 (2/11~2/17)の発生動向

比較は定点あたりの人数による

インフルエンザは土庄地区を除く県内で流行中。

感染性腸炎(ウイルス)は県内全域で流行中

インフルエンザは、流行開始以降初めて増加がおちついた。しかし、東讃、坂出以西の県内からの報告は依然として多く、これらの地区の多くは流行警報地区か、それに近い水準となっている。特に琴平地区からの報告が多い。2月11日現在のインフルエンザウイルスの分離状況は、A/香港型33件、A/ソ連型77件、B型0件となっている。中四国では、A/香港型148例、A/ソ連型378例、B型33例となっている。B型は、広島県を中心に、岡山県、島根県、高知県、愛媛県などで分離されている。

感染性胃腸炎(ウイルス)は6週間ぶりに減少した。しかし、依然として、中讃地区を中心に県内全域で流行中である。

水痘の報告が今週大幅に減少した。高松地区を除き各地区ともに報告患者数は減少している。

観音寺地区は依然として麻疹の流行警報地区となっている。

丸亀地区で、伝染性紅斑の報告が依然多い。

今週の上位疾患

疾患名	今週	前週	前週比	過去5週の平均	過去10年の平均	報告の多い地区
感染性胃腸炎(ウイルス)	14.34人	17.09人	83.9%	13.68人	7.30人	琴平、丸亀、坂出地区を中心に県内全域
インフルエンザ	10.14人	9.98人	101.6%	4.03人	14.63人	東讃 坂出 丸亀 琴平 観音寺
水痘	1.75人	2.81人	62.2%	3.01人	2.11人	琴平 高松 丸亀 土庄
流行性耳下腺炎	1.31人	1.25人	105.0%	1.39人	1.17人	丸亀 観音寺
突発性発疹	0.56人	0.66人	85.7%	0.76人	0.80人	特になし

病原微生物検出情報

細菌	分離数	検体	検体採取日	地区	病名
K.oxytoca	1	糞便	2/5	土庄	流行性嘔吐下痢症
Streptococcus B群 UT	1	咽頭	2/7	高松	溶連菌感染症
ウイルス	分離数	検体	検体採取日	地区	病名
インフルエンザ Aソ連型	23	咽頭	1/30~2/8	高松、坂出、観音寺	インフルエンザ疾患、上気道炎、咽頭気管支炎、気管支炎
インフルエンザ A香港型	11	咽頭	2/1~2/8	高松、中部、坂出、観音寺	インフルエンザ疾患

定点医療機関からのコメント

西岡医院(高松市) : インフルエンザ A・B クイック検査7件、A検査5件

三好医院(大内町) : レビッドビュー A/B 陽性43例、陰性2例、同一家族内発生のため未施行10例、インフル A・B クイック A型陽性1例

大川総合病院(寒川町) : 感染性胃腸炎の流行が依然続いている(小児科)、インフルエンザの報告は今週は少なめ(内科)

回生病院(坂出市) : レビッドビュー陽性12例

もりもとこどもクリニック(丸亀市) : インフルエンザ キャピリアフル A型19例、B型4例

国立善通寺病院 : 感染性胃腸炎の報告の1例はロタウイルス、インフルエンザ A型4例、B型6例

気象通報

第7週の平均気温 : 5.7 (過去の30年の平均気温 : 5.4)

第7週の平均湿度 : 36.3 %

